

平成26年(2014年) 6月の結果 (二人以上の世帯)

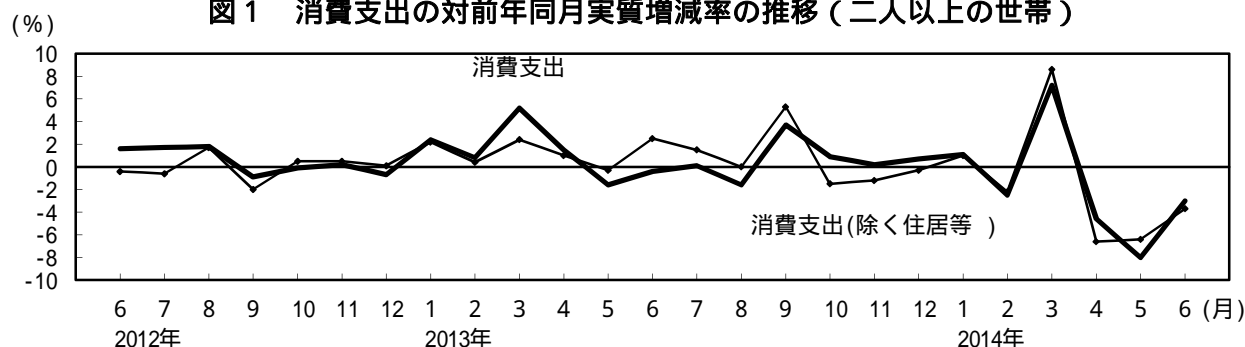
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 272,791 円		
前年同月比	実質 3.0%の減少	前月比(季節調整値)	実質 1.5%の増加
	名目 1.3%の増加		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 236,460 円		
前年同月比	実質 3.7%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.4%の増加
	名目 0.5%の増加		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 710,375 円		
前年同月比	実質 6.6%の減少		
	名目 2.5%の減少		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

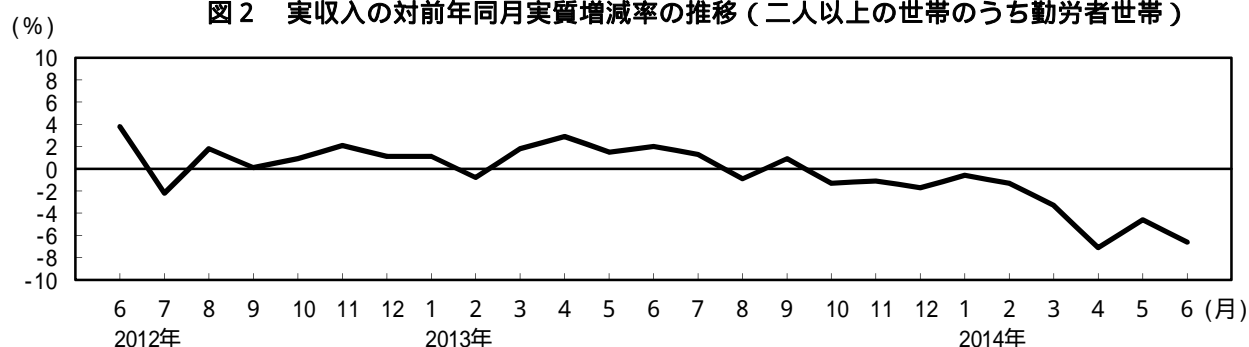
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2013年								2014年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
消費支出	-0.4	0.1	-1.6	3.7	0.9	0.2	0.7	1.1	-2.5	7.2	-4.6	-8.0	-3.0	
消費支出(除く住居等)	2.5	1.5	0.0	5.3	-1.5	-1.2	-0.3	1.0	-2.2	8.6	-6.6	-6.4	-3.7	

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2013年							2014年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実収入	2.0	1.3	-0.9	0.9	-1.3	-1.1	-1.7	-0.6	-1.3	-3.3	-7.1	-4.6	-6.6
可処分所得	1.4	0.4	-1.4	-0.4	-1.4	-1.4	-2.1	-0.5	-1.3	-3.2	-7.0	-3.4	-8.0
消費支出	0.9	-1.6	-0.5	3.7	-1.0	-1.6	-2.3	-0.2	-3.2	7.5	-6.9	-8.8	-4.5
平均消費性向*	-0.2	-1.4	0.8	3.5	0.3	-0.2	-0.1	0.3	-1.6	10.6	0.1	-5.4	1.9

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2014年6月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	272,791	1.3	-3.0	-3.0		3か月連続の実質減少
食 料	68,120	1.2	-3.7	-0.92	<減 少> 外食,魚介類など	3か月連続の実質減少
住 居	19,453	11.0	9.6	0.62	<増 加> 設備修繕・維持	2か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	20,351	5.9	-2.0	-0.14	<減 少> ガス代,他の光熱など	3か月連続の実質減少
家具・家事用品	10,930	-2.0	-6.8	-0.28	<減 少> 家庭用耐久財,家事雑貨など	3か月連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	12,141	0.0	-2.0	-0.09	<減 少> シャツ・セーター類など	3か月連続の実質減少
保 健 医 療	11,883	-8.4	-9.7	-0.46	<減 少> 保健医療サービス,保健医療用品・器具など	3か月連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	38,733	5.9	2.2	0.31	<増 加> 通信	3か月ぶりの実質増加
教 育	7,334	3.4	1.1	0.03	<増 加> 授業料等	2か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	28,012	-2.5	-6.9	-0.73	<減 少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用品など	3か月連続の実質減少
その他の消費支出	55,832	-1.6	(-5.7)	(-1.21)	<減 少> こづかい	3か月連続の減少
消 費 支 出 (除く住居等)	236,460	0.5	-3.7	-		3か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[-0.41]	外国パック旅行費,国内パック旅行費
諸雑費	[-0.34]	葬儀関係費,信仰・祭祀費
保健医療サービス	[-0.32]	歯科診療代,医科診療代
家庭用耐久財	[-0.30]	電気洗濯機,電気冷蔵庫
教養娯楽用品	[-0.27]	動物病院代,ペットフード
交際費	[-0.27]	贈与金,つきあい費
自動車等関係費	[-0.24]	自動車購入,ガソリン

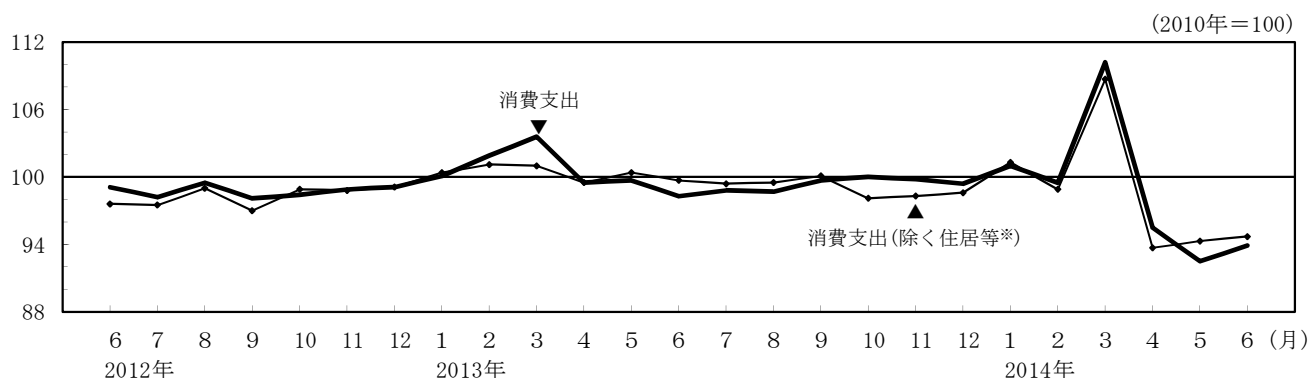
< 増加項目 >

通信	[0.72]	移動電話通信料,固定電話通信料
設備修繕・維持	[0.63]	外壁・塀等工事費,給排水関係工事費

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2013年								2014年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費支出	98.3	98.8	98.7	99.7	100.0	99.8	99.4		101.0	99.5	110.2	95.5	92.5	93.9
対前月変化率(%)	-1.4	0.5	-0.1	1.0	0.3	-0.2	-0.4		1.6	-1.5	10.8	-13.3	-3.1	1.5
消費支出(除く住居等※)	99.7	99.4	99.5	100.1	98.1	98.3	98.6		101.3	98.9	108.7	93.7	94.3	94.7
対前月変化率(%)	-0.7	-0.3	0.1	0.6	-2.0	0.2	0.3		2.7	-2.4	9.9	-13.8	0.6	0.4

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2014年6月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	710,375	-2.5	-6.6	-6.6	9か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	561,877	-1.0	-5.2	-4.05	4か月連続の実質減少
定 期 収 入	347,737	0.4	-3.8	-1.82	5か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	214,140	-3.3	-7.4	-2.23	
配 偶 者 の 収 入	78,084	-3.9	-8.0	-0.88	11か月連続の実質減少
他の世帯員収入	7,935	-17.4	-20.9	-0.28	8か月連続の実質減少
非 消 費 支 出	141,501	3.4	—	—	4か月ぶりの増加
可 処 分 所 得	568,874	-3.9	-8.0	—	11か月連続の実質減少
消 費 支 出	295,738	-0.3	-4.5	—	3か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	(前年同月) (ポイント差)				季節調整値でみると、74.8%で、前月に比べ、4.5ポイントの上昇となった。
	52.0	50.1	1.9		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。